

企画展

昭和の記憶

令和8年 4月1日(水)～6月14日(日)



フェニックス
 堺の焼け跡に不死鳥が
 はばたき、人びとは踊った



長曾根チーム



福泉チーム



踞尾チーム



鳳チーム



住吉チーム



黒土チーム



五ヶ庄チーム



深井チーム



山之口チーム



堺市博物館
 SAKAI CITY MUSEUM

上 出島鯨まつりの山車 昭和29(1954)年岸谷勢蔵「鯨まつり」部分(当館蔵)
 下 地区対抗で踊る市民 昭和23(1948)年岸谷勢蔵「堺市民踊りスケッチ帖」部分(当館蔵)



企画展 昭和の記憶 令和8年 4月1日(水)～6月14日(日)

令和8年は昭和100年の年にあたり、全国でさまざまな記念事業が展開されます。60年以上に及ぶ昭和史において第二次世界大戦の戦禍は日本社会に深い爪痕を残しました。都市空襲に備えた建物疎開は東京や大阪など各地で行われましたが、多くの都市では記録が残されないまま貴重な景観が失われています。一方堺では、市が戦時下に組織された市民の芸術家たちの団体である芸術報国連盟に昭和19(1944)年に委嘱し、写真や絵画、文筆などによって壊される前と取り壊されていく堺の姿を記録することにしました。これは、全国的にも卓抜した取組であり、戦時下において消えゆく都市の姿を後世に伝えようとした点で、きわめて例の少ない試みでした。その結果できあがった堺市建物疎開記録関係資料は堺市立中央図書館で保存され、令和7年12月に堺市有形文化財(歴史資料)に指定されました。本展ではこの資料を指定後に初めて公開いたします。

記録制作の中心となった郷土画家・岸谷勢蔵(1899～1980)は、堺の人々が焼け跡から復興し暮らしを立て直してきたまちの姿も描いています。幾度も戦禍に遭いながらも、たくましく復活を遂げる「不死鳥(フェニックス)・堺」の息吹を絵画と写真をとおして昭和の記憶として紹介します。



堺市指定有形文化財：「堺市第一次疎開地区記録」・「卯之日座」部分
昭和19(1944)年 堺市立中央図書館蔵 岸谷勢蔵画



堺市指定有形文化財：堺市疎開地記録写真帳上・下より
「卯之日座」の取り壊し
昭和19(1944)年 堺市立中央図書館蔵

展示構成

- I. 昭和初期の堺の姿
- II. 消えゆく街の姿を残せ
- III. 不死鳥(フェニックス)のはばたき
- IV. 記録画でたどるあたらしい堺

展示品解説
日時：令和8年 4月1日(水)～4月5日(日)
5月2日(土)・6月7日(日)
各日とも午後2時～20分程度
会場：堺市博物館展示場(申込不要)

関連事業

- ・記念講演会「昭和100年 堺」
日時：令和8年5月31日(日) 午後2時～午後3時30分
講師：竹田芳則氏(奈良大学教授)
会場：堺市博物館地階ホール(申込不要、先着80名)
- ・学芸講座「消えゆく街の姿を残した人々」
日時：令和8年4月19日(日) 午後2時～午後3時30分
講師：当館学芸員
会場：堺市博物館地階ホール(申込不要、先着80名)

4月1日(水)～4月5日(日)
博物館 再始動
—サンクス・イベント—
開催します!

詳しくは

堺市博物館

〒590-0802 大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 大仙公園内
TEL.072(245)6201 FAX.072(245)6263
<https://www.city.sakai.lg.jp/kanko/hakubutsukan/>

- 開館時間 午前9時30分～午後5時15分(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 月曜日(5月4日は開館)
- 観覧料 一般 200円(160円)
高校・大学生 100円(70円)
小・中学生 50円(30円)

※()内は20名以上の団体料金
※堺市在住の65歳以上の方、障害のある方は無料(要証明書)
※堺市在住・在学の小・中学生は無料



企画展情報



Instagram



堺市博物館公式キャラクター
サカイタケルくん
©YABUCHI Saotoki



世界遺産
World Heritage Site of Osaka
百舌鳥古市古墳群
Mozu-Furuichi
Kofun Group

◆交通案内

- 電車 JR阪和線「百舌鳥」駅下車約500m
- バス 南海高野線「堺東」駅から南海バス(140系統で約10分)、バス停「堺市博物館前」下車約280m
- 駐車場 大仙公園第3駐車場(仁徳天皇陵古墳東南・有料)